

## 損益状況

### ●3行単体合算

(単位:億円)

	平成23年度	平成24年度	前年比
業務粗利益	1,931	1,890	▲42
資金利益	1,601	1,555	▲47
役務取引等利益	198	190	▲8
特定取引利益	2	1	▲1
その他業務利益	130	144	14
経費(除く臨時処理分)▲	1,078	1,009	▲68
業務純益※1	864	954	90
コア業務純益※2	755	769	14
信用コスト※3▲	242	71	▲171

「コア業務純益」は、資金利益および役務取引等利益の減少を、経費削減でカバーした結果、前年比+14億円増加し、769億円となりました。

「連結経常利益」は、信用コストの減少およびその他臨時損益等の増加により、前年比+311億円増加し、688億円となりました。

「連結当期純利益」は、経常利益が増加した一方、前年度に連結納税制度の導入に伴う税負担の減少等214億円(3行単体合算)を計上した反動等により、前年比+39億円増加の321億円となりました。

### ●FFG連結

	平成23年度	平成24年度	前年比
経常利益	377	688	311
当期純利益	282	321	39

※1 業務純益=業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分) - 一般貸倒引当金繰入額

※2 コア業務純益=業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

※3 信用コスト=一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額

## 主な指標

(単位:%)

	平成24年 3月末	平成25年 3月末	24年3月末比
不良債権比率 (3行単体合算・部分直接償却後)	2.96	2.81	▲0.15
自己資本比率(連結)	10.98	12.26	1.28
うちTier I 比率	6.92	8.36	1.44

不良債権比率は24年3月末比0.15%低下し、2.81%となりました。

自己資本比率[国内基準(第二基準)]は、24年3月末比1.28%上昇し12.26%、Tier I 比率も同1.44%上昇し、8.36%となりました。

## 総資金(預金+NCD)の状況(3行単体合算)

総資金(預金+NCD)は、3行ともに堅調に推移しました結果、前年度末比6,622億円増加し、11兆7,727億円となりました。

※NCD…譲渡性預金

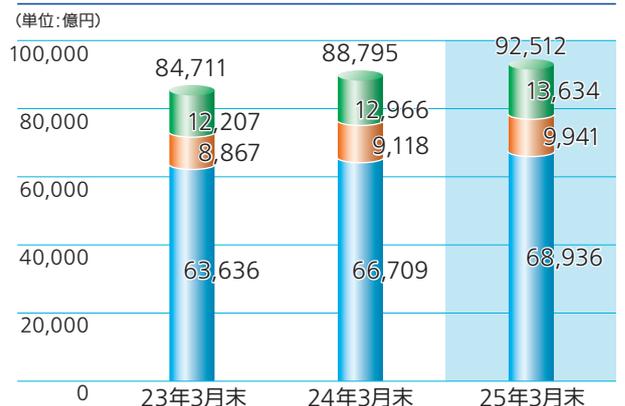
総資金残高(期末残高)



## 貸出金の状況(3行単体合算)

貸出金は、地元企業や個人のお客さまの資金ニーズに積極的に応えました結果、前年度末比3,717億円増加し、9兆2,512億円となりました。

貸出金残高(期末残高)



損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	平成23年度	平成24年度	前年比
業務粗利益	1,357	1,344	▲13
資金利益	1,119	1,082	▲37
国内部門	1,073	1,034	▲39
国際部門	46	48	2
役務取引等利益	146	142	▲4
特定取引利益	2	1	▲1
その他業務利益	90	119	29
経費(除く臨時処理分)▲	692	651	▲40
業務純益	640	773	133
コア業務純益	599	599	0
経常利益	436	658	222
当期純利益	202	331	129
信用コスト▲	169	41	▲128

「コア業務純益」は、資金利益の減少を経費削減等でカバーした結果、ほぼ前年並みの599億円となりました。

「経常利益」は、信用コストの減少および株式関係損益の増加等により、前年比+222億円増加し、658億円となりました。

「当期純利益」は、退職給付信託の一部解約に伴う特別損失を計上した一方、前年度に計上した法人税率引下げ影響▲32億円がなくなり、税負担が減少したこと等から前年比+129億円増加し、331億円となりました。

主な指標

(単位:%)

	平成24年 3月末	平成25年 3月末	24年3月末比
不良債権比率 (単体・部分直接償却後)	2.87	2.70	▲0.17
自己資本比率(連結)	12.70	12.93	0.23
うちTier I 比率	9.30	9.85	0.55

不良債権比率は24年3月末比0.17%低下し、2.70%となりました。

自己資本比率(国内基準)は、24年3月末比0.23%上昇し12.93%、Tier I 比率も同0.55%上昇し、9.85%となりました。

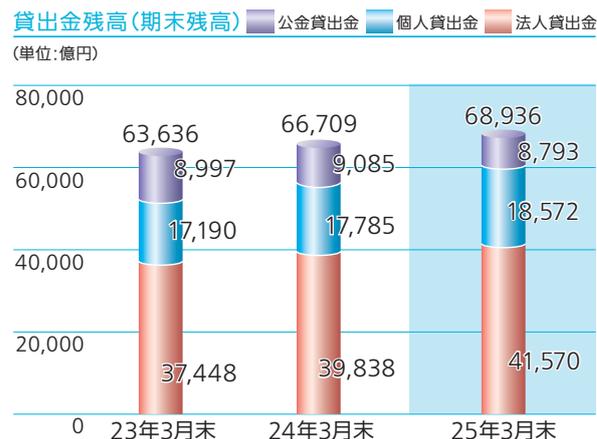
総資金(預金+NCD)の状況

個人預金・法人預金ともに堅調に推移しました結果、前年度末比4,588億円増加し、8兆4,502億円となりました。



貸出金の状況

法人向けや個人向けの残高が順調に増加した結果、総貸出金は前年度末比2,226億円増加し、6兆8,936億円となりました。



損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	平成23年度	平成24年度	前年比
業務粗利益	221	215	▲6
資金利益	201	192	▲8
国内部門	200	192	▲8
国際部門	1	1	▲0
役務取引等利益	17	13	▲4
特定取引利益	—	—	—
その他業務利益	3	9	7
経費(除く臨時処理分)▲	156	148	▲8
業務純益	72	55	▲17
コア業務純益	64	60	▲5
経常利益	▲6	31	36
当期純利益	16	66	51
信用コスト▲	33	24	▲8

「コア業務純益」は、資金利益の減少を主因として、前年比▲5億円減少し、60億円となりました。

「経常利益」は、有価証券(債券・株式)関係損益の増加等により、前年比+36億円増加し、31億円となりました。

「当期純利益」は、連結納税効果(損益通算)による税負担の減少等により、前年比+51億円増加し、66億円となりました。

主な指標

(単位:%)

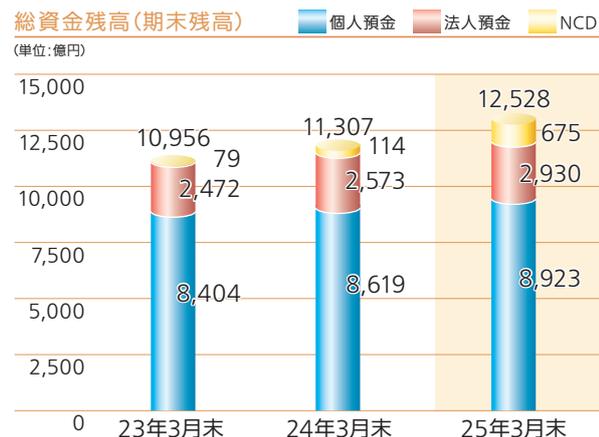
	平成24年 3月末	平成25年 3月末	24年3月末比
不良債権比率 (単体・部分直接償却後)	3.01	3.07	0.06
自己資本比率(単体)	10.84	10.38	▲0.46
うちTier I 比率	10.07	9.62	▲0.45

不良債権比率は24年3月末比0.06%上昇し、3.07%となりました。

自己資本比率(国内基準)は、24年3月末比0.46%低下し10.38%、Tier I 比率も同0.45%低下し、9.62%となりました。

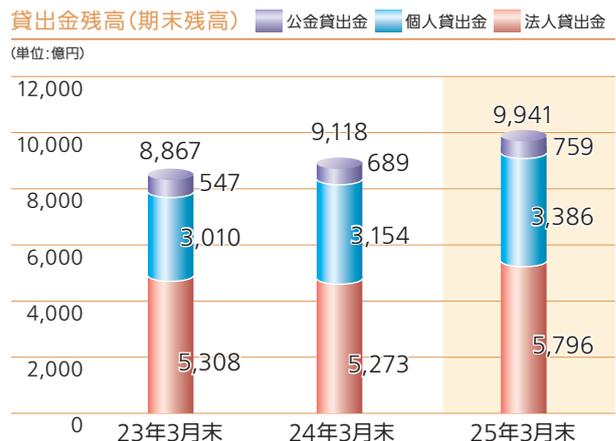
総資金(預金+NCD)の状況

個人預金・法人預金ともに堅調に推移しました結果、前年度末比1,221億円増加し、1兆2,528億円となりました。



貸出金の状況

法人向けや住宅ローンを中心とする個人向けが順調に増加した結果、総貸出金は前年度末比823億円増加し、9,941億円となりました。



## 損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	平成23年度	平成24年度	前年比
業務粗利益	354	331	▲23
資金利益	282	280	▲2
国内部門	280	279	▲1
国際部門	2	1	▲1
役員取引等利益	35	35	0
特定取引利益	—	—	—
その他業務利益	38	16	▲22
経費(除く臨時処理分)▲	230	210	▲20
業務純益	152	126	▲27
コア業務純益	91	110	19
経常利益	27	110	83
当期純利益	167	50	▲117
信用コスト▲	40	6	▲34

「コア業務純益」は、経費削減等により、前年比+19億円増加し、110億円となりました。

「経常利益」は、コア業務純益の増加に加え、信用コストの減少およびその他臨時損益等の増加(※)により、前年比+83億円増加し、110億円となりました。

「当期純利益」は、前年度において連結納税制度の導入に伴う税負担の減少を計上した反動等により、前年比▲117億円減少し、50億円となりました。

※前年度に住宅ローンの証券化による譲渡益の一括償却を実施。

## 主な指標

(単位:%)

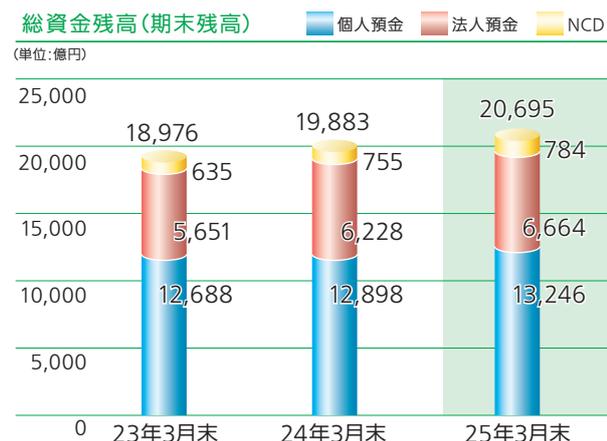
	平成24年3月末	平成25年3月末	24年3月末比
不良債権比率 (単体・部分直接償却後)	3.35	3.19	▲0.16
自己資本比率(単体)	12.85	11.89	▲0.96
うちTier I比率	10.58	9.71	▲0.87

不良債権比率は24年3月末比0.16%低下し、3.19%となりました。

自己資本比率(国内基準)は、24年3月末比0.96%低下し11.89%、Tier I比率も同0.87%低下し、9.71%となりました。

## 総資金(預金+NCD)の状況

個人預金・法人預金ともに堅調に推移しました結果、前年度末比811億円増加し、2兆695億円となりました。



## 貸出金の状況

法人向けが順調に増加した結果、総貸出金は前年度末比667億円増加し、1兆3,634億円となりました。

